

中小企業タイムズ

12月号

2012年
第673/248号
(毎月1日発行)

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可

今月の見どころ

- 2面 県政功績者に中央会関係者4人が受章
- 4・5面 組合活動のご紹介
- 7面 組織化推進月間(11月)活動報告
- 8面 横内知事へ商工団体が陳情

11月の出来事

- 時事
 - 4日 甲府河川敷で発砲事件
 - 11日 新県立図書館オープン
 - 16日 衆議院解散
- 山梨県中央会ニュース
 - 8、15、22、29日 組合士受験対策講習会
 - 13日 組合青年部県大会
 - 14日 レディース中央会全国フォーラムin福島
 - 20日 活力ある職場づくり山梨県大会
 - 26日 第8回正副会長会議

12月の予定

- 2日 中小企業組合検定試験
- 5日 事務連絡協議会研修会

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp> e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

大和郡山、甲府で地場産品販売促進事業を展開!

大和郡山で「PICAメッセ見本市」

甲府で「山梨いいもの・うまいもの市」に出店参加

県産品を積極的にPR



山梨の魅力を発信する「PICAメッセ大和郡山」

て、昭和工業団地や地場産品など県内総出荷額の3分の1を占める「工業都市」といった3つの顔を持ち、伝統的な商業や農業の分野においても特色を発揮してきた地域である。

7回目の開催となる今年、江戸時代の甲府城主柳沢吉里を介した歴史的な縁で、平成4年1月に甲府市と奈良県大和郡山市が姉妹都市となり、今年で20周年を迎えたことに伴い、両市の今後の更なる交流と相互の交友関係を深め、商工業振興と地場産品の発展が図られることを目指し、甲府からは地場産品等を扱う組合や甲府市工業協会等を含め15の団体・企業が参加した。

イベントは両日で約2万2千人の来場者があり、農業、商業、工業各分野の約60社によるPRブースの出展のほか、模擬店やフリーマーケット、太鼓演奏もあった。

本会ブースでは、甲府印伝商工業協同組合の(株)印傳屋上原勇七は歴史ある甲州印傳の魅力のPRとオリジナルブランドバッグや小物等の販売を、山梨県印章店協同組合は印章文化のPRや職人による甲州手彫印章製作の実演を、山梨県菓子工業組合の(株)平和堂は地元食材を活かした手作りロールケーキの販売を、同組合の(株)澤田屋はえんどう豆のあんこ玉に黒糖の羊羹で包んだ和菓子の販売とPR等を行った。

各社、山梨における伝統産業等の新たなイメージを来場者にアピールすることができ、手応えを感じたようだ。

山梨いいもの・うまいもの市

うまいもの市

11月24日(土)、25日(日)、甲府中心商店街「かすがもろ」において「山梨いいもの・うまいもの市」(主催・関東・東海B・1グランプリin甲府実行委員会)が開催され、本会ブースには山梨県菓子工業組合、山梨県味噌醤油工業協同組合、山梨県酒造組合、山梨県ワイン酒造協同組合の4組合の組合員が出店した。

「山梨いいもの・うまいもの市」はJR甲府駅周辺の4会場で開催された「2012関東・東海B・1グランプリin甲府」との同時開催で、甲府市や山梨県の特産品、土産品などの「いいもの・うまいもの」を来場者に紹介と販売をするほか、中心街への誘客を図り商店街の活性化に繋げることを目的に開催された。



県産ワインを紹介する「山梨いいもの・うまいもの市」



多くの人で賑わう「山梨いいもの・うまいもの市」

イベントの両日は天候にも恵まれ、メインイベント「関東・東海B・1グランプリ」の会場では、山梨、千葉、静岡、神奈川など8県16団体が出展し、地元「鳥もつ煮」をはじめ庶民の味が勢ぞろいし、2日間で来場者が14万8千人(主催者発表)の人数で賑わった。

客足は、中心市街地「山梨いいもの・うまいもの市」の会場にも延び、想定を上回る観光客や家族連れなどで商店街が活気づいた。

本会ブースには、山梨県菓子工業組合の組合員が自慢の銘菓を、山梨県味噌醤油工業協同組合の組合員が鳥もつ煮のレトルト等を、山梨県酒造組合の蔵元7社が日本酒を、山梨県ワイン酒造協同組合の組合員がワインを、それぞれPRと販売を行った。その他にも、やまなしブランドみやげ品協会等の団体を含め19団体・企業が出店した。

今回は、県内外の来場者が多かったことにより、各団体とも昨年12月に開催した「B級ご当地グルメよっちゃばれ市inこうふ」(リハーサルイベント)を遙かに上回る売り上げがあり、山梨の特産品・土産品等を幅広く効果的にPRすることができ、大成功であった。

栄誉

県政功績者に中央会 関係者4人が受賞

山梨県は、平成24年度の県政功績者53人を11月13日付で発表した。中央会関係者では4人が栄えある受賞を受けた。
(50音順)



新藤 進氏
(山梨報徳機工協同組合 理事長)
(山梨県中小企業団体中央会 理事)



佐藤 喜夫氏
(元山梨県トラック事業協同組合 理事)



栗山 直樹氏
(協同組合山梨県流通センター 理事長)
(山梨県中小企業団体中央会 理事)



小田切富男氏
(元山梨県宝石研磨工業協同組合 理事長)

中央会の「経営革新等支援機関」認定と個別企業支援の取り組み

～多彩な支援業務を展開～

本会は、事業協同組合等の設立と中小企業組合の指導・育成を目的に設立され、組合等の管理・運営・経理・税務・金融・労働等の支援を通じ、中小企業の発展のための支援業務を行っています。

近年、組合等の連携組織は大きな環境変化の中で変化の必要に迫られています。そのためには、組合の構成員である中小企業の振興が必要不可欠なものであることから、組合の構成中小企業の経営立て直しが急務とされ、本会でも個別中小企業の**金融、労働、商品開発、販路等**の支援に力を入れています。

本会は、平成24年11月5日付で「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」に基づき経営革新等支援業務を行う者として関東財務局長と関東経済産業局長から第1号認定を受け、組合の構成中小企業の支援業務に本格的に取り組むこととなりました。なお、関東甲信越静ブロックでは929の機関が認定され、全国では13の中央会が認定されました。

また、それ以外にも本会の個別企業支援は、経済産業省、厚生労働省及び農林水産省の制度を利用しながら次のような窓口を設置し支援を実施しています。組合や構成企業で経営のお悩みのある方は、お気軽に本会までご相談ください。

「認定経営革新等支援機関」

認定支援機関の業務は、多様化・複雑化する中小企業の経営課題を財務及び会計等の分析と課題解決の鍵を握る経営改善計画の策定等を行い、中小企業の経営力を強化するための支援を実施しています。

「最低賃金総合相談支援センター・最低賃金相談支援コーナー」

専門スタッフとしてコーディネーターを常駐させ、生産性の向上等の中小企業の経営改善を通じて賃金支払能力の向上を図るとともに、経営改善によって変更される賃金制度、労働時間制度、労働安全衛生管理体制の見直しに対応する支援を実施しています。



農産物の加工に取り組む農業者

「6次産業化サポートセンター」

サポートセンターでは、農林漁業者

等による加工・販売分野への進出を促進するなど、農林漁業と2次産業・3次産業との連携の推進を図り、農林水産物等の地域資源を有効に活用して地域の雇用の確保と所得の向上を目指すという6次産業化の取り組み事業者を支援しています。

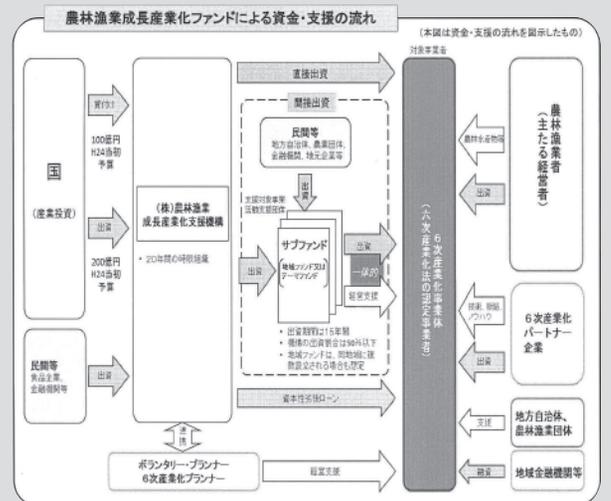
平成24年度に本会のサポートにより、6次産業総合化事業計画の認定を取得し新たな事業展開を計画している事業者は、以下の3社です。

認定事業者名	テーマ名	内容
有限会社 忍沢養殖場	山梨産の大型ニジマス「甲斐あかね」を使った燻製等の商品開発と販売	自社開発の大型ニジマス「甲斐あかね」を使用し、加工品（スモーク、干物）の開発・製造・販売により漁業経営の安定化を図る。
株式会社東夢	山梨県産ぶどうを活用したレスベラトロール高含有の新商品の開発と販売	自社生産の醸造用ぶどうとワイン製造時に出るパミス（絞り粕）を使用し、加工品（レスベラトロール高含有ジュース・ワインジャム・ペースト）の開発・製造・販売により農業経営の安定化を図る。
有限会社 山梨フルーツライン	新生産方式による無添加あんぼ柿の開発と通年販売	自ら生産した柿を使用した硫黄薫蒸を行わない無添加あんぼ柿・あんぼ柿のシャーベットの商品開発・製造・販売により農業経営の安定化を図る。

また、平成24年8月29日に国会で株式会社農林漁業成長産業化支援機構法

（ファンド法）が成立したことにより、官民共同出資の農林漁業成長産業化ファンドが創設されます。6次産業化の取り組みをさらに拡大・高度化するための支援の促進が期待されています。ファンドのマッチングにより、中小企業者と農林漁業者とが連携し、産地段階から連携した商品・メニューの差別化を行い新たな事業展開が図れます。

農林漁業成長産業化ファンドによる資金・支援の流れ



組合間連携

ibuki

息吹

これからの中小企業経営に欠かせない考え方は、親企業と下請企業的な力のあるものにつき従う経営ではなく、多種多様な関係性の中で自身の企業が独立性または独自性を確保することが必要である。

また、自社（自組合）の限界を知り、協力者（組合）の組織化を通じて「1社あるいは単一組合よりもより大きなマーケットまたは、高付加価値の経営を模索すること」、「単一組合では実現できない様々な共同事業の実現の可能性が高まること」などを目指した共同事業の展開が求められてくるのではないかと考える。

単に組合へ加入しているという状態ではなく、共に何かを生み出すという志向と精神で、自ら主体的に行動する組合員の意欲が大切である。何かをしてもらおうと待っている依存姿勢では何も生まれない。共に存在する中で、共に何かを生み出して行こうとする積極的な姿勢が必須である。

今後、組合員の事業基盤を強化するためには、組合事業を単一組合内に留めるのではなく、組合員にとっての組合事業のメリットを創造、拡充することを目的として、同業種、異業種との関係を拡大し、更に「組合間連携」を進めていくことが必要である。中小企業と組合が新たな活路を切り拓くためにも、また地域経済の発展、あるいは業界を挙げた経済的地位の向上のためにも「組合間連携」は必要である。中央会では、組合同士の連携及び組合員同士の連携を進化させ、組合員である中小企業のビジネスチャンスの創出と拡大に取り組んでいます。

山梨県中小企業団体中央会情報連絡員報告

本県の10月の景況は、全業種のDI値が、売上高-24(前年同月比-8)、収益状況-42(前年同月比-18)、景況感-46(前年同月比-14)となった。業種別のDI値では製造業で、売上高-40(前年同月比-15)、収益状況は-55(前年同月比-30)、景況感-50(前年同月比-20)。非製造業で、売上高-13(前年同月比-3)、収益状況-33(前年同月比-10)、景況感-43(前年同月比-10)となった。

全体では、前年同月比で全ての項目においてDI値が悪化しており、また業種別の前年同月比でも、製造業、非製造業ともにDI値が悪化している。特に製造業の収益状況のDI値に関しては、-30ポイントと悪化の幅が最も大きくなっており海外景気の減速や円高、尖閣諸島国有化等の問題が影響していると思われる。前月比で見ると製造業は、収益状況、景況感が更に悪化し、非製造業では全ての項目で好転しているが先行きは不透明であるとのコメントもある。

情報連絡員による県内の10月の業況報告によると、製造業は、日中関係の悪化による影響を受け、受注不安や景気の冷え込みによる資金繰りの悪化等を懸念するコメントが目立っている。非製造業では、消費動向の不振や低価格競争による収益減の報告が目を引いた。

今後、海外経済の減速や日中関係の悪化による国内経済の冷え込みが一段と厳しくなり県内の中小企業を取り巻く経営環境は、ますます厳しい状況になると思われる。

業界の動き

平成24年10月分

データから見た

トピックス

情報連絡員には、景気動向の変化、現状とその背景などについて、業界または組合員全体の動向・予測(売上高・原材料等経費・資金繰りなど)についてコメントを求めた。

が前年同月よりも減少した。

その他(貴金属①)／得意先の倒産や廃業により売り先が減少している。

家具製造／先月よりも電気料金や健康保険料等の値上げが、コスト上昇要因となっている。

印刷／売上が落ち込んでいるため資金繰りが悪化している。

窯業・土石(砂利)／中部横断自動車道の公共工事が本格化するまでは厳しい状況にある。

小売(青果)／全体的に価格が上昇傾向にある。

窯業・土石(生コン)／甲府市内の大型既契約物件のコンクリート需要も徐々に終息を迎え、出荷量は減少傾向にある。

小売(水産物)／10月は各地域で収穫祭を兼ねたイベントが目白押しとなり、消費者が小売店へ出向く機会が減り、業況は極めて低調である。

鉄鋼・金属(1)／かなり厳しい状況。先行きが不透明である。

小売(石油)／米国の株価低迷等により原油価格が下落したため、全油種の製品及び元売りの卸価格にも反映され県内給油所の店頭価格は横ばいか若干値下げした。また、10月1日から

一般機器(1)／国際見本市に出展したが、先行きは不透明である。

小売(食肉)／消費不振により高値商品の動きが悪い。

一般機器(2)／新規開拓により、若干売上が増え

商店街(1)／消費者の購買欲が乏しく、売上、収益ともに減少した。

商店街(2)／物販関係は相変わらず低調だが、飲食関係は若干上向き傾向にある。

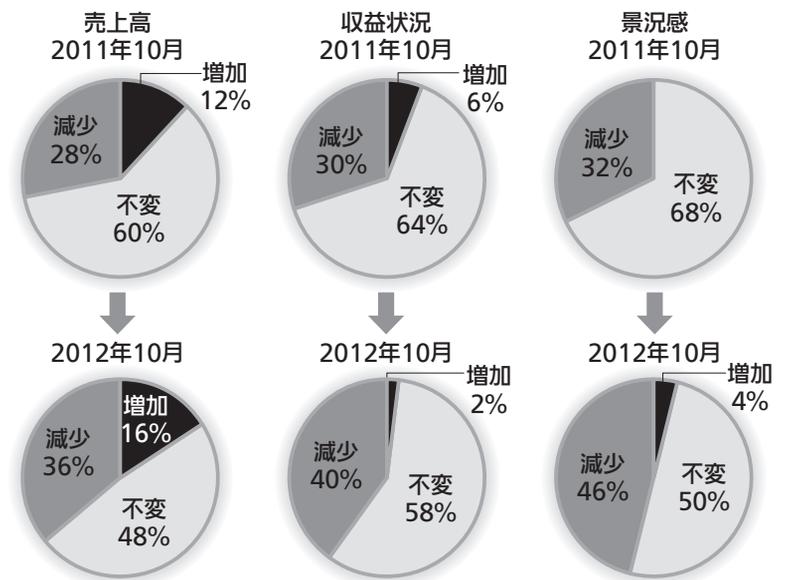
建設業(総合)／業況は悪化している。

建設業(鉄構)／受注価格は相変わらず安値が続いているため、先行き不透明の状況である。

設備工事(管設備)／新築着工戸数が減少し厳しい状況が続いている。

運輸(タクシー)／昨年より一段と業況は悪化している。

データから見た業界の動き(平成24年10月分)



業界の現況は？

山梨県絹人織物工業組合
理事長 勝俣明美氏

本組合は郡内地域の織物業の振興発展に尽力している組合です。本県東部・富士五湖(郡内)地域は、全国でも有数の織物の産地です。郡内織物には、男性服裏地、ネクタイ、ストール・マフラー、洋傘、カーテン・寝装等、多品種が生産されています。特に「ネクタイ」については、全国でも有数の生産量を誇っています。

当産地の織物業界は昭和50年代をピークに、その生産量、売上高ともに激減傾向にあります。これは、中国をはじめとした東南アジア諸国の安価な賃金から生み出される低価格製品の氾濫により、商品力のみでは太刀打ちできず、長期にわたる構造的な不況が続いています。そのため、織物に携わる業者も減少傾向にあり、厳しい状況です。

今後の展開は？

従前から当産地内の経営形態はOEM(相手先ブランド名製造)が大部分です。しかし、この体制では、価格面で相手方の意向が強く反映されてしまい、受注量が増えても収益は伸びないという状況になってしまっています。

そこで、当業界では「OEMからの脱却」を掲げ、自社ブランドを立ち上げ、自ら販売していくスタイルを模索しています。その一環として、ネクタイ及びストールといったネック周りの商品を新しい感覚で作りに上げ販売する試みである「NOTE・YOU DIE」事業、産地内の若手後継者が学生と一緒に「産学コラボ」事業があります。これらは新たな産地の方向性を示唆している事業で、大いに期待をしています。

今後組合員の製品のブランド化を進め消費者に直接製品をお届けできる機会を増やしていきたいと思っております。そして、将来的には業界内における生地生産高の自社ブランド比率を3割まで上げていきたいと考えています。



組合が製作した自社ブランドパンフレット

森の家庭料理レストランを 視察

ACTIVE KUMIAI

企業組合ふるさと薬膳森樹



森の家庭料理レストランの前で

企業組合ふるさと薬膳森樹(田中洋子理事長)は、小淵沢町で地元食材を利用した主婦によるレストランとして平成8年にオープン、女性による地域おこし型組合の先進事例として全国から注目を集めた。開業以来16年が経過し経営環境が変化したことから、新たな経営コンセプトの構築と新業展開を行う

ために、本年度、中央会からの助成を受けて成長戦略推進プログラム支援事業に取り組み、11月5日に組合員、従業員、専門家19名で茨城県の「ポケットファームどきどき・森の家庭料理レストラン」の視察を行った。視察では、森の家庭料理レストランの田村店長から、地元野菜の調達方法、バイキング方式の料理の提供方法、店舗の運営方法などについて説明を受け、その後、料理に舌鼓を打った。

組合員、従業員からは、「地元の野菜を生かした家庭料理が安心感を出している」「ありふれた素材でも料理のバリエーションが多い」「従業員が自信を持って料理の説明をしている」といった感想が聞かれるとともに、「森樹でもその日に手に入れられる野菜を使って柔軟にメニューを決められるようにしたい」といった抱負も込められた。

組合の成長戦略推進プログラム支援事業では、中小企業診断士の澤さん、野菜ソムリエの芦澤さん、広告企画会社の澤登さんの3人の専門家の連携により、来年2月に新たな店舗コンセプトによるメニュー開発と広告宣伝手法の確立を目指すとしている。



田村店長からの説明を聞く

TOPICS

山梨県食肉事業協同組合連合会

この秋、食肉の秋を満喫!!

ACTIVE KUMIAI

山梨県食肉事業協同組合連合会(高野修一会長)は、10月上旬から11月下旬にかけて、県内で開催された様々な秋のイベントに参加した。

イベントでは、山梨県産食肉及び国産食肉に関する知識の普及を図ることを目的として、一般の消費者を対象に試食会他、食肉に関するパネルの展示などを行った。試食コーナーでは、来場者に県産牛と豚の焼肉の提供を行うとともに、アンケート用紙を配布しその場で回収することで来場者との交流、組合活動のPRを図った。パネル展示コーナーでは、食肉の安全管理・食肉の文化知識などの情報提供、また、食肉に関する紹介パンフレットを配布して消費者が食肉を購入する際の知識の普及を図った。

なお、それぞれのイベント・参加は、「平成24年度食肉情報等普及・啓発事業」「平成24年度食肉小売機能高度化推進事業」によるもので、(社)日本食肉協議会、全国食肉事業協同組合連合会などの協力を得ている。どのイベントも天候に恵まれ、多くの来場者が組合のブースを訪れた。

参加イベントについては、次のとおりである。

■10月7日(日)「フェスタまきば」…県立まきば公園

■10月20日(土)「秋の富士ヶ峰酪農まつり」…富士ヶ峰酪農場

■10月20日(土)「甲府大好き祭り」…かすがもろる

■11月10日(土)～11日(日)「県民の日記念行事」…小瀬スポーツ公園
■11月23日(金)「えびす講祭り」…かすがもろる



フェスタまきばの様子



甲府大好き祭りの様子

TOPICS

山梨県遊技業協同組合

「健全営業」推進のための 研修会を開催!

ACTIVE KUMIAI



研修風景

山梨県遊技業協同組合(大森武正理事長)は、去る10月24日、セレス甲府において、「平成24年度経営者・店長(管理者)研修会」を開催した。第一部では、山梨県警察本部生活安全部生活環境課の渡邊富士雄課長補佐、同じく山崎美風俗営業担当係長より「健全営業の推進について」の研修が行われた。研修の中では、業界における広告宣伝において、①入賞を容易にした遊技機の設置をうかがわせる表示をしないこと、②著しく射幸心(可能性の少ない偶然の成功や、利益を得ようとする気持ち)をそそるおそれのある方法で営業しないこと、③について説明がなされた。なお、本組合の組合員には、この広告宣伝について組合からの指導が徹底されており、本件について警察庁から通知が発出された本年7月20日以降、違反広告による行政処分は0件であった。また、「賞品買取の禁止について」、「児童の車内放置の防止について」、「遊技機の不正改造防止について」、「各種法令の遵守について」の説明がなされた。

次に第二部では、元甲府税務署長で中村税理士事務所の中村保長所長より、「適正納税について」をテーマとした研修が行われた。研修の中では、当業界の消費税の計算方法等について実際の計算を交えた説明が行われた。また、今後の消費税増税問題について、世界における消費税率について等の説明も併せて行われた。

当日は多くの組合員経営者・管理者等が参加し、質疑応答等も積極的に行われ、組合員における本研修会への関心の高さがうかがえるものとなった。



本組合にて製作・配布した子供事故防止防犯パトロール用ベスト

「車ふれあい祭り2012」開催 澄んだ空 未来に届けるマイカー点検

ACTIVE KUMIAI



各支部より選抜された整備士による競技会

山梨県自動車整備商工組合・社団法人山梨県自動車整備振興会が、11月17日(土)アイメッセ山梨において、「車ふれあい祭り2012」を開催した。このイベントは組合・振興会が取り組む自動車点検整備推進運動の一環として、適正な点検・整備の重要性と確実な実施を広く県民に周知促進することで、交通事故や公害の防止を目指すもの。当日は多くの県民でにぎわった。

会場では第19回山梨県自動車整備技能競技会も同時開催され、自動車整備士による白熱した戦いに家族連れなど多くの来場者が熱い声援を送った。

点検推進コーナーでは、相談員が常駐し、自分で出来るマイカー日常点検のアドバイスや定期点検クイズなどを行い、日常の点検整備及び専門家による自動車の適正な維持管理の重要性について啓蒙した。また、シートベルト衝撃体験・自動車運転適正診断、往年の名車展示コーナーや子供連を対象にしたイベントも実施。各自動車整備店は子ども110番のお店であることを普及する「てんけん君」ぬりえコーナー、抽選会に参加するためのスタンプラリー・クイズ、ドリンクの無料サービスも行われた。高度な電子制御を備えた自動車の普及など故障が少なく、いと思われがちだが、日頃の点検・整備があつてこそ、安全・安心が保障される。このイベントは、保有台数の多い山梨県民に広くその重要性を普及する機会と業界のイメージアップにつながる場となった。



なつかしい車も勢揃い

TOPICS

協同組合山梨県流通センター

新たな組合活動への 希望を語る

ACTIVE KUMIAI

協同組合山梨県流通センター(栗山直樹理事長 組合員64社)が、11月9日に創立40周年の記念式典と祝賀会を甲府富士屋ホテルで開催した。

栗山理事長は、記念式典の式辞で、組合の設立からの経過と、最近10年で行った金融事業の廃止、組合資産の活用による収入基盤の確立、組合加入金の廃止などの3つの組合運営の転換が今日の組合の安定に繋がっていることを述べるとともに、「組合員が有形・無形を問わず利益を享受し実感できる組合の実現こそが、組合の求心力を高め、今後の発展を約束する条件になる」と述べた。

その後、組合活動に功労のあった組合員の中から、中小企業長官表彰1名、中小企業基盤整備機構理事長表彰1名、山梨県知事表彰5名、全国卸商業団地協同組合連合会長表彰3名が表彰を受けた。

記念式典終了後に場所を移して行われた記念祝賀パーティーでは、組合の40年の歩みがビデオとして編集上映され、県産ワインを味わいながら和やかに懇談と交流が行われた。

終わりに、記念事業の実行委員長である細田俊副理事長から、「創立当時の人達が共有していた『新しい流通団地を作り出す』という熱意はもう持てないが、世代交代した組合員が50周年に向けて新たな組合の価値を創造していけるよう力を合わせていきたい」という抱負がお礼のことばとして述べられた。

梨県流通センター創立40周年



40周年を期に表彰を受けた方々

TOPICS

赤帽山梨県軽自動車運送協同組合

平成24年度・ 秋季全体研修会開催

ACTIVE KUMIAI



講師の原田氏

赤帽山梨県軽自動車運送協同組合(丹羽孝徳理事長)は、10月20日(土)に赤帽山梨県本部会議室で、組合員を対象に研修会を開催し、組合員32名が参加した。

研修会は、山梨県中小企業団体中央会の補助金を受けて行われたもので、「赤帽の組織(フランチャイズ&協同組合)の現状と将来の姿」「赤帽の現状と今後の取組について(何をすべきか?)」などについて話がされた。

講師からは、「赤帽組合は荷主のために存在するという大前提抜きには組合活性化はなく、そのためには、組合員・執行部が共に視点を組合内部ではなく顧客(荷主)に向け、常に提案し続けることが大切である。赤帽組合は製造業とは違い商品がなく、組合員一人一人が「商品」であり、品質(商品力)を高めるためには、人間性を高めていくことが重要である」と述べられた。

また、「近年は、輸送品質の高い事業者との取引が荷主から求められるようになってきており、その要求に応えるためにも、全国組織の強みを生かして、競合他社との差別化・差異化を図り競争に打ち勝つていかねばならない」との話がされ、参加者はみな熱心に聴講していた。

組合は今後も、組合員の意識の向上のため、定期的に研修会を行っていく。



熱心に聴講する組合員

山梨県中小企業団体中央会女性部会

レディース中央会全国フォーラムに参加

11月14～15日の両日、平成24年度『レディース中央会全国フォーラム in 福島』が、「～つながろう日本!!～女性の力で中小企業の活性化を!」をテーマに、福島県会津若松市「芦ノ牧温泉大川荘」で開催された。本県から8名、全国から約250名の女性経営者、経営者夫人、組合の女性役職員が参加した。



基調講演を行う古志野純子氏

第1部基調講演では、『中小企業経営 ～女性の力で一歩前へ～』と題し、株式会社長岡塗装店代表取締役古志野純子氏が、「会社の一番の財産は社員である。若手、女性の社員教育や小さい会社だからこそ実現できる」とした仕事で成果が出る仕組みについて講演を行った。



事例発表を行うリノラニあゆみ氏

続いて、第2部事例発表では、『被災地復興と女性の果たす役割』と題し、ハーラウラウラーナニ主宰リノラニあゆみ氏が、「東日本大震災によって大きな影響を受けた地元いわき市を、フラダンス『アロハの心』で元気づけたい、また、日本全国へ感謝の気持ちや元気を届けたい」という復興へ向けた

取り組みなどについて熱く語った。

交流会では、全国からの参加者が地域を越えて、情報交換や親睦を深めた他、講演を行ったハーラウラウラーナニフラダンスチームによるダンスの披露や、次回開催地である鳥取県のDVDによる紹介、また、宿泊先である大川荘の協力による「白虎隊」の踊りが披露され大いに盛り上がった。

なお、今回は被災地開催ということもあり、女性部執行部から開催地である福島県へ義援金が贈られた。



参加者の方々

山梨県中小企業労務改善団体連合会

第26回 活力ある職場づくり推進運動 山梨県大会開催

山梨県中小企業労務改善団体連合会(会長:大宮山磐)は、11月20日(火)クラウンパレス甲府において、第26回活力ある職場づくり推進運動山梨県大会を開催した。



受彰者を代表して謝辞を読む西村仁氏

大会では、地域及び業界の労務改善に尽力した功労者30名が、山梨県、山梨県中小企業団体中央会、山梨県中小企業労務改善団体連合会よりそれぞれ表彰された。

また、表彰式典終了後には、(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ代表取締役興水順雄氏より「ヴァンフォーレ甲府、J2初優勝までの軌跡」をテーマとした講演会が開催され、ヴァンフォーレ甲府の1年間の奮闘ぶりが伝えられた。



講演会には受彰者を含む約50名が参加した

表彰者一覧

- 山梨県知事表彰(6名) (以下敬称略)
西村仁(都留市経営者連絡協議会)、五味公博、野田文久、渡辺勇(以上山梨県自動車整備労務改善協議会)、坂本政彦、坂本幸晴(以上山梨県トラック事業労務改善協議会)
- 山梨県中小企業団体中央会会長表彰(13名)
長田富也、西川公彦(以上都留市経営者連絡協議会)内田正人、早川亨、南宏道、村松俊之(以上山梨県自動車整備労務改善協議会)安藤松男、遠藤夏樹、直井一夫、深澤要、堀内満喜子(以上山梨県トラック事業労務改善協議会)中村一郎、保坂讓(以上山梨市中小企業労務改善協議会)
- 山梨県中小企業労務改善団体連合会会長表彰(11名)
青沼智則、平山安年(以上甲州市中小企業労務改善協議会)野武一雄(都留市経営者連絡協議会)山本宏(山梨市中小企業労務改善協議会)清水忠、田中好輔、中山良仁、樋口廣紀、渡邊新一(以上山梨県自動車整備労務改善協議会)新津豊明、深澤和長(以上山梨県トラック事業労務改善協議会)

山梨県中小企業団体青年中央会

組合青年部県大会を開催



講師の一圓克彦氏

講演会は、(株)リピーツの一圓克彦氏を招き、「10円で8割をリピーターにする集客術」をテーマに行われた。一圓氏は、「リピーターが増えるメリットとして、販促費の削減、人にかけるコストの削減、売上の安定がある。顧客離脱率の差が業績の差にあらわれる。ビジネスは心理戦である。顧客満足のためには顧客のニーズ、ウォンツの先にあるウィッシュを刺激する。価格、限定を強調せず、ウリ(企業の強み+少しの弱み)を強調する。よい口コミを作的に造り出す。」など自身の数々の企業経営やコンサルティンクの経験を基にした行動経済学や社会心理学のアプローチによる「リピーターの作り方」の実践的ノウハウについて説明した。2時間という時間を全く感じさせない楽しい一圓氏の話は、まさにリピーターをつくる、すなわち人の心をつかむということの実践であり、非常に有意義な講演となった。

その後の交流会では、講演に引き続き一圓氏も参加し、山梨県産業労働部産業政策課伊藤課長、中小企業団体中央会内藤会長および(株)商工組合中央金庫甲府支店小俣支店長を来賓に招き、各テーブルでは情報交換など異業種の交流がはかられ、会場は大いに盛り上がりを見せ、盛会の内に終了した。

講演会は、(株)リピーツの一圓克彦氏を招き、「10円で8割をリピーターにする集客術」をテーマに行われた。一圓氏は、「リピーターが増えるメリットとして、販促費の削減、人にかけるコストの削減、売上の安定がある。顧客離脱率の差が業績の差にあらわれる。ビジネスは心理戦である。顧客満足のためには顧客のニーズ、ウォンツの先にあるウィッシュを刺激する。価格、限定を強調せず、ウリ(企業の強み+少しの弱み)を強調する。よい口コミを作的に造り出す。」など自身の数々の企業経営やコンサルティンクの経験を基にした行動経済学や社会心理学のアプローチによる「リピーターの作り方」の実践的ノウハウについて説明した。2時間という時間を全く感じさせない楽しい一圓氏の話は、まさにリピーターをつくる、すなわち人の心をつかむということの実践であり、非常に有意義な講演となった。



県大会には若手経営者・後継者39名が参加した

11月13日(火)、山梨県中小企業団体青年中央会(山縣正道会長)は、平成24年度組合青年部県大会を甲府・古名屋ホテルで開催した。このイベントは、青年部間の交流および青年中央会の組織強化のために毎年行われているもので、県内組合青年部等の若手経営者や後継者39名の出席を得て行われた。



絆 トラック運送の役割は変わってはいない。必要とされている物を、必要としている場所へ。生産地から消費地へ。365日24時間、休むことなく運ぶこと。それは国内物流の9割以上を担う物流のプロとしての責任から。
しかし、私たちは考えている。日本中を繋ぐ架け橋になれたらいい。人と人の心を繋ぐ絆に、少しでも役立てばいい。

絆と心を荷台にのせて
走れ!トラック 緑の道を

平成24年度標語最優秀作品

(社)山梨県トラック協会 (公社)全日本トラック協会

組織化月間報告

山梨県中小企業団体中央会

組織づくりは、中央会へご相談を!

11月、本会では組織化推進のため、普及パンフレットを各ハローワーク、市町村へ配布した。

今回作成した組織化普及パンフレットは、近年の雇用状況の悪化を背景として、労働者が自ら働ける場を創る「企業組合」を中心に取り上げたもの。「企業組合」とは、個人が集まり、それぞれの資本と労働を集約し、1つの企業体となって事業活動を行う組合である。

「企業組合」には様々なメリットがある。その中には、「税制上の優



ハローワークにおいて

遇」、「有限責任制度」、「議決権・選挙権の平等」、「営利追求可能」、「勤労者としての地位を保証」、「行政庁からの支援を受けられる」等である。この中でも特徴の1つとして挙げられるのが、「勤労者としての地位の保証」である。これは、組合員(出資者)は株式会社の株主に該当するが、事業従事者である組合員の受け取る報酬は、事業所得では無く給与所得となるというもの。また、一部条件をクリアすれば、社会保険としての健康保険、厚生年金、労働保険としての雇用保険、労災保険の適用を受けることができる。

本会では、この企業組合の他にも中小企業組合等の設立、運営の支援を行っている。また、増えつつある一般社団法人の他、多くの組織化・設立の実績もある。今回の活動は、各地域に眠るシーズ、ニーズを拾い上げ、育てていくことを目的としている。皆様の中で、また、お知り合いの方で組織づくりのご相談がある方は、何なりと本会組織課までご連絡下さい。



お問い合わせ 山梨県中小企業団体中央会 組織課 堀内/仲澤

Yamanashi Chuo Bank **山梨中銀**
街並みづくり応援ローン

看板を新しくしたい! シャッターを新しくしたい!
店舗の外装、内装にかかる設備資金ニーズにご利用いただけます。

クロスを張り替えたい! テーブルを新しくしたい!

山梨中央銀行は、商店街や地域経済の活性化に関する取り組みを応援いたします。ぜひお気軽にご相談ください。

※上記の設備資金ニーズは一例です。本ローンのお使いみちにつきましてはお気軽にご相談ください。

ご利用いただける方	次のいずれかに該当する法人および個人事業主のみなさま 1. 1年以上、小売業または飲食・サービス業を営んでいる事業者の方 2. 小売業または飲食・サービス業を営んでいる事業者の方に、店舗等を賃貸している(または賃貸する予定である)物件所有者の方																	
お使いみち	以下に該当する設備資金にお使いいただけます。 1. 店舗等の看板、シャッター、外壁塗装等の外装費用 2. クロス張替え、床板張替え等の内装費用																	
ご融資金額	無担保扱い: 500万円以内 有担保扱い: 1,500万円以内																	
ご融資期間	10年以内(振替期間はございません。)																	
ご融資利率	当行所定の変動金利を適用いたします。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">期間</th> <th colspan="2">利率 (平成24年7月25日現在)</th> </tr> <tr> <th>有担保扱い</th> <th>無担保扱い</th> </tr> <tr> <td>1年以内</td> <td>1.300%</td> <td>2.000%</td> </tr> <tr> <td>1年超 3年以内</td> <td>1.800%</td> <td>2.500%</td> </tr> <tr> <td>3年超 5年以内</td> <td>1.900%</td> <td>2.600%</td> </tr> <tr> <td>5年超 10年以内</td> <td>2.100%</td> <td>2.800%</td> </tr> </table>	期間	利率 (平成24年7月25日現在)		有担保扱い	無担保扱い	1年以内	1.300%	2.000%	1年超 3年以内	1.800%	2.500%	3年超 5年以内	1.900%	2.600%	5年超 10年以内	2.100%	2.800%
期間	利率 (平成24年7月25日現在)																	
	有担保扱い	無担保扱い																
1年以内	1.300%	2.000%																
1年超 3年以内	1.800%	2.500%																
3年超 5年以内	1.900%	2.600%																
5年超 10年以内	2.100%	2.800%																
ご返済方法	元金均等返済																	
担保	個別にご相談させていただきます。																	
保証人	法人:代表者 個人:不要																	
保証料	信用保証協会をご利用の場合は、別途保証料が必要となります。																	

◎くわしくは山梨中央銀行の窓口またはフリーダイヤルへどうぞ。 <http://www.yamanashibank.co.jp/>
☎0120-201862(開会コード:9)
受付時間 月曜日~金曜日 9:00~17:00 (ただし、祝日・12/31~1/3は除きます) 平成24年7月25日現在

山梨県中小企業団体中央会が推進する
安い掛金で 大きな安心

自動車共済

24時間事故受付で、緊急連絡にそなえて万全の事故処理体制をとっています。万一の事故のときは、顧問弁護士や専門職員が示談交渉にあたり、解決するまで協力します。

関東自動車共済協同組合

山梨県支部

〒400-0035 甲府市飯田 4-4-2 自動車共済ビル
TEL 055-237-8331(代)

希望者全員を65歳まで 継続雇用の義務化!!

情報 **BOX**

高齢者の雇用安定等に関する法律により、65歳未満の定年の定めをしている事業主は、平成25年3月31日までに65歳までの安定した雇用を確保するための環境を整備することが義務付けられました。

公的年金支給開始年齢(老齢厚生年金の報酬比例部分)の65歳への引き上げが開始される平成25年度以降、無年金・無収入となる者が発生する可能性があることに伴う措置で、現行法の60歳で定年に達した社員について、労使が継続雇用の選別基準を設けてよいとする規定を廃止し、希望者全員の雇用に65歳まで確保するよう企業に義務付けるものです。

65歳未満定年制をとる企業が行うべき措置

▶以下のいずれかの措置を講じなければなりません。

- ①定年の引上げ → 定年年齢を65歳以上に引き上げる
- ②定年の定め廃止 → 定年年齢そのものを廃止
☆本人から退職の申し出があるまで雇用
- ③継続雇用制度の導入 → 勤務延長制度か、再雇用制度を導入する
☆勤務延長制度…定年年齢が設定されたまま、その年齢に到達した者を退職させることなく引き続き雇用
☆再雇用制度…定年年齢に達した者をいったん退職させた後、再び雇用
※対象者の希望を聞くことが前提

お問い合わせ先 山梨県中小企業団体中央会 労働課 周知・啓発推進員 堀内 TEL055(237)3215

2013 (第16回)

中小企業団体 新春交流会の ご案内

- 開催日時** 平成25年1月11日(金)
16:00~18:00
- 開催場所** アピオ甲府
中巨摩郡昭和町西条3600
- 内容** ①式典(16:00~16:40)
②交流会(16:40~18:00)
- 参加費** 1人 ¥5,000-
- お申し込み締め切り** 12月14日(金)
までをお願いいたします。

多数のご参加をお待ちしております。

面接会参加企業募集中

山梨県シルバー人材センター連合会では山梨労働局より委託を受けてシニアワークプログラム地域事業を実施し、55歳以上の高齢者の就職・就業支援をしています。

合同面接会

- 平成24年12月14日(水)
- 昭和町「アピオ甲府」13:30~



- ▶介護施設関係
- ▶タクシー会社
- ▶清掃、調理補助関係
- ▶造園関係

の面接会参加企業を募集しています。詳しくは下記までお問合せ下さい。

公益社団法人
山梨県シルバー人材センター連合会
〒400-0035 甲府市飯田3丁目3-28
Tel.055-228-8383

「けんみん信組 ビジネスローン」

事業者向けローン

- ご融資期間 **最長5年!!**
- ご融資金額 **50万円~最高500万円!!**
- スピード審査

ご利用いただける方

- 原則として業歴2年以上の法人(協同組合は不可)および確定申告を行っている個人事業主
- 農林水産業の方も申込できます。(但し、業種によっては受付出来ない場合があります)
- アイフル株式会社の保証が得られる方
※詳しくは、窓口または営業係までお気軽にご相談ください。

けんみんのグッドパートナー

YKS 山梨県民信用組合

甲府市相生1丁目2-34 TEL055-228-5151
http://www.yamanashikenmin.shinkumi.jp

商工団体の代表者から 知事に要望書を手渡す



知事に要望書を手渡す商工団体の代表者

11月1日(木)、甲府市「ホテル談露館」において、山梨県知事と商工団体との懇談会が開催され、商工団体から本県経済の総合的発展のための5点の要望事項が横内知事に提出された。

この懇談会は、山梨県からは横内正明知事のほか新津修産業労働部長、小林明観光部長が、また、山梨県中小企業団体中央会、甲府商工会議所、富士吉田商工会議所、山梨県商工会連合会の商工団体からは正副会長等が出席し、本会からは、内藤悦次会長、武田興光副会長、松葉惇副会長が出席した。

懇談会は、山梨県商工会連合会の小林会長が開会を行い、司会者より出席者紹介がされた後、主催者団体の代表として幹事団体の甲府商工会議所の上原会頭があいさつを行った。その後、横内知事のあいさつがあり、続いて要望書が上原会頭から横内知事に手渡された。

知事へ提出された要望事項は5点で、「中小・小規模企業対策の拡充強化」と「金融施策の拡充強化」を山梨県商工会連合会の小林会長が、「リニア実験線の甲府盆地からの乗降対応とリニア新駅に対応した県内アクセス網の整備」を甲府商工会議所の上原会頭が、「6次産業化と農商工連携への支援策の充実強化」を山梨県中小企業団体中央会の内藤会長が、「本県基幹産業としての観光産業の確実な振興」を富士吉田商工会議所の堀内会頭が、要望内容にもとづき説明を行った。

その後、懇談の席上で横内知事から、中小・小規模企業対策については指導員の柔軟配置の検討



中央会の要望を発表する内藤会長

を、金融制度の充実については現行制度を活用する中で中小零細商工業者に不都合が出ないように配慮していく、リニア新駅の周辺整備については基本構想の中で検討を行っていく、6次産業化・農商工連携については国の施策を活用する中で県として商工団体の協力を得ながら振興を図っていく、観光産業の振興については富士山の世界遺産登録を見据えてハード整備の検討もする等の回答がされた。

最後に、閉会のあいさつを中央会の内藤会長が述べ閉会した。

要望書の内容は中央会ホームページをご覧ください。

編集後記

いよいよ「2012年最後の月」に入りました。12月は「師走」と言われ、ただでさえ忙しい月であるにもかかわらず、今年には総選挙が行われます。「国民不在の政治」と言われることもあり、政治に飽き飽きという方もいるかも知れませんが、「選

挙権」は国民に与えられた重要な権利です。しっかりと各候補者の主張を把握し、自らの将来を託せる方に投票しましょう。ただし、中小企業組合には「政治的中立の原則」がありますのでご注意ください。

●ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216 E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp